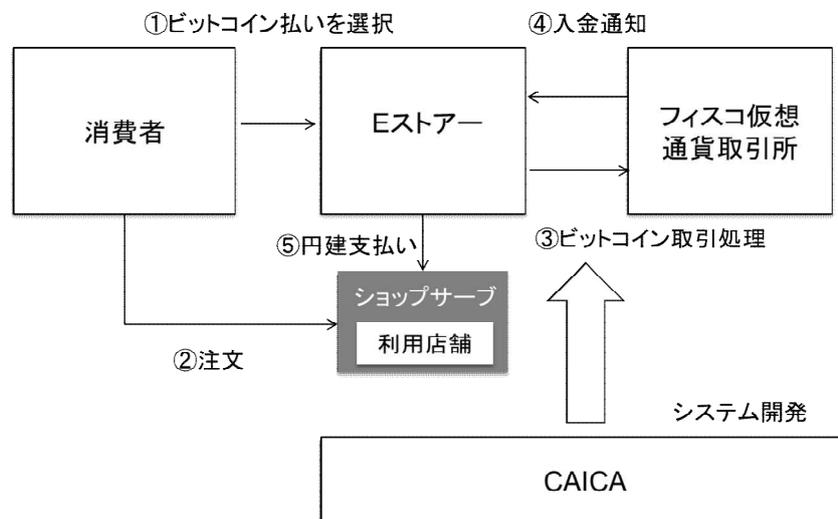


2017年3月15日
株式会社フィスコ (3807 JASDAQ)

フィスコ仮想通貨取引所が ビットコイン決済の総合サービスをEストアーへ提供

株式会社フィスコ(JASDAQ 上場、証券コード「3807」、本社:東京都港区、代表取締役社長:狩野仁志、以下、「フィスコ」)のグループ企業である株式会社フィスコ仮想通貨取引所(本社:大阪府岸和田市、代表取締役:越智 直樹、以下「フィスコ仮想通貨取引所」)は、株式会社Eストアー(JASDAQ 上場、証券コード「4304」、本社:東京都港区、代表取締役:石村 賢一、以下「Eストアー」)、が EC 事業者提供する通販システム、「ショップサーブ」へビットコイン決済の総合サービスの提供を開始いたしましたのでお知らせいたします。

2016年6月、Eストアーおよびフィスコ仮想通貨取引所が公表しておりますとおり、両社は、ECサイトにおけるビットコイン決済分野において業務提携を行っておりますが、本サービスはEストアーが「ショップサーブ」を利用する12,500店の利用社全てに標準機能として搭載するものです。



従来、実店舗等でビットコイン決済を導入する際は、店舗ごとの対応が必要でありましたが、今回は「ショップサーブ」の12,500店全てを一括で導入することに成功いたしました。これによりフィスコ仮想通貨取引所は、今後、ますます取引の拡大が見込まれるビットコイン市場において、大きな取扱量を確保することが見込まれます。

今回のサービスにおいてフィスコ仮想通貨取引所は、Eストアーに対して、単にビットコイン取引処理のサービスを提供するだけでなく、決済されるべきビットコインやその入金過不足、決済待ち顧客の管理など、12,500店舗とその利用顧客への一括導入に耐えうる総合サービスとしてその提供を実現しております。

これはフィスコ仮想通貨取引所が、フィスコの連結対象子会社である株式会社カイカ(JASDAQ 上場、証券コード「2315」、本社:東京都目黒区、代表取締役社長:牛 雨、以下「カイカ」と連携して、ビットコインの性質に即した、決済における管理マネジメントの仕組みを実装したことにより実現したものです。

フィスコ仮想通貨取引所は昨年8月の取引所サービスの開始以来、その顧客口座数はすでに 6,700 口座を超え、取引量も飛躍的に増加しておりますが、今後も口座の獲得ならびに決済サービスの提供を拡大することによって、取引所そのものの取扱量を拡大させていきます。このように取引所の流動性が増すことは、フィスコ仮想通貨取引所が今後のメインの事業領域に見据えている「B2B 向け仮想通貨サービス」におけるカバー取引、ETF 型の仮想通貨商品や派生商品、証券化類似商品、あるいはIoTプラットフォームサービスなど、あらゆるB2B向けサービスにおける重要な土台を形成することになります。

今回のEストーリーに対するビットコイン決済サービス提供を皮切りに、フィスコ仮想通貨取引所は今後ますます EC 事業者ならびにリアル店舗における決済サービス導入を拡大し、その流動性を土台にした新たな B2B サービスを拡充していく予定です。

今後のフィスコグループの仮想通貨／ブロックチェーン戦略にご期待ください。

【株式会社フィスコ仮想通貨取引所の概要】

会社名： 株式会社フィスコ仮想通貨取引所
所在地： 大阪府岸和田市荒木町二丁目 18 番 15 号
設立日： 2016 年 4 月 12 日
資本金： 112 百万円(2016 年 12 月 30 日現在)
代表者： 代表取締役 越智 直樹
事業内容： 仮想通貨の取引所運営、仲介、ファイナンス、仮想通貨を利用した金融派生商品の開発・運用、仮想通貨の取引所運営に関するシステムの開発・販売およびコンサルティング、その他の仮想通貨の一般サービス

【株式会社カイカの概要】

会社名： 株式会社カイカ <http://www.caica.jp/>
所在地： 東京都目黒区大橋一丁目 5 番 1 号
設立日： 1989 年 07 月 14 日
資本金： 6,391 百万円(2016 年 10 月 31 日現在)
代表者： 代表取締役社長 牛 雨
事業内容： 情報サービス事業

【株式会社Eストアーの概要】

会社名： 株式会社Eストアー <http://Estore.co.jp>
所在地： 東京都港区西新橋一丁目 10 番 2 号
設立日： 1999 年 2 月 17 日
資本金： 523 百万円(2016 年 3 月 31 日現在)
代表者： 代表取締役 石村 賢一
事業内容： EC サイト構築・ネット通販総合支援

以上